

2024年 9月 25日

助成団体名

2023年度「水俣・熊本みらい基金」助成事業報告書

企画テーマ	水俣・長崎学習旅行	
取り組み実施期間または日時	2024年3月30日～4月2日	

【取り組み目的】

原爆が投下された長崎、日本の近代公害問題を経験した水俣、地震の被害にあった熊本城を訪れ、その地に起きたことを知り、経験者の話を聞き、今、そこに住んでいる人たちと交流する。また、原発事故を経験した福島の子供たちがその地を訪れることにより、自分たちの置かれている立場について広い視野から考えられるよう、事前事後の学習会も開催し、学びを深めていく。東北からは遠い九州の景色や文化に触れ、様々な人たちとの出会いを楽しむ。原爆事故をこれからの世代、子どもたちにどう伝えるかを考える。

【取り組み内容と成果】

スケジュール：別添付 アンケート・感想：別添付
報告ブログ <https://ameblo.jp/pokapro/entry-12851527308.html>
参加者：4家族15名（大人3名・高校生1名・中学生4名・小学生3名・スタッフ4名）
成果：
熊本城の地震の傷跡と、懸命な復興の見学、水俣の街歩き、考証館見学と水俣病患者の方のお話、長崎の原爆資料館見学、被爆者の方のお話と遺構巡り、子どもたちだけでなく、お母さん方やスタッフも辛いこともたくさんあり、すぐには言葉にできないことも多い。でも、一緒に体験したことでこれからも事あるごとに話していくことが出来ることは、大切だと思う。どうしても福島に重ねて考えてしまうお母さん方とスタッフ、伝えるということ、話すということ、すぐに解決する問題ではなく、長く長くかかる道のりだということ、いろいろな課題を投げられたようで、苦しいけれど、一緒に考えていく仲間がいることが、とても心強い。
子どもたちが、教科書で学ぶこと、情報として耳にすることが、とても限られていることに気づいた点は大きいと思う。福島の事も福島以外の人はほとんど知らない、だから伝えていかねばと考えることが出来た。中高生を中心に、親子で体験するこの学習旅行を、これからも続けていきたいと、心から思う。

【備考欄】